

第19回 教育研究評議会議事要旨

日 時 平成17年7月6日(水) 13:35～15:45
場 所 事務局 第1会議室
出席者 20名(欠席者2名)

第18回 教育研究評議会議事要旨について

学長から、議事要旨(案)のとおり確認された旨の報告があった。

議 題

1 学長の任期に関する規則の制定について

総務部長(事務局長の代理)から、資料1に基づき説明するとともに、第4回学長選考会議〔6月23日(木)開催〕で審議された旨の報告があり、審議の結果、これを了承した。

引き続き、丸山理事から、学長選考会議での審議経過等について報告があった。

なお、学長から、第329回教授会(教授、助教授及び講師)で報告した後、第19回役員会の議を経て制定する旨の説明が併せてあった。

2 平成17年度 非常勤講師の選考について

丸山理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、第329回教授会(教授)に付議することを了承した。

教授会審議事項報告

- 1 平成17年度 大学院工学研究科修士課程 9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 2 平成17年度 大学院工学研究科博士後期課程 9月入学者選抜試験合格者の選考について
- 3 平成18年度第3学年(学力選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
- 4 平成18年度 大学院工学研究科修士課程 入学者選抜試験(学内選抜)推薦者の決定について
- 5 平成18年度 大学院工学研究科修士課程 (高専専攻科修了見込者推薦選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
- 6 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

学長から、上記1から6について、資料3から7に基づき、第329回教授会(教授、助教授及び講師)で審議する旨の報告があった。

なお、学長から、上記5(高専専攻科修了見込者 推薦選抜)の志願者数が昨年度より6名減少しているため、その原因について、入学試験委員会で調査するよう要請があった。

報 告

1 平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告について

丸山理事から、資料8に基づき、文部科学省(国立大学法人評価委員会)に提出した旨の報告があった。

また、学長から、7月19日(火)にヒアリングが実施される旨、併せて報告があった。

2 学術交流協定の締結について

3 独立行政法人 国際協力機構 調査団員の派遣について

石崎副学長から、上記2及び3について、資料9及び10に基づき報告があった。

4 平成16年度決算について

学長、西澤理事及び会計課課長補佐（会計課長の代理）から、資料11に基づき報告があった。

また、会計課課長補佐から、当該決算書類は監事及び監査法人による会計監査を経て、第18回 役員会〔6月22日（水）開催〕及び第5回 経営協議会〔6月23日（木）開催〕で審議した後、文部科学省へ提出した旨併せて報告があった。

5 平成16年度 外部研究資金に係る共通経費及び間接経費の決算について

6 平成17年度 外部研究資金に係る共通経費及び間接経費の予算額（案）について

学長、西澤理事及び会計課課長補佐から、上記5及び6について、資料12及び13に基づき報告があった。

7 外部研究資金受入状況について

産学連携・研究推進課長から、資料14に基づき報告があった。

8 平成17年度 科学研究費補助金 国立大学法人 工学系大学 における採択状況等の比較について

9 平成17年度 高等専門学校・長岡技術科学大学 教員交流研究集会について

丸山理事から、上記8及び9について、資料15及び16に基づき報告があった。

10 学生数 及び 学生異動について

学務課長から、資料17に基づき報告があった。

なお、丸山理事から、大学院修士課程において定員を充足していないと、その分、運営費交付金が減額されることに留意するよう説明があった。

11 長岡まつり 民踊流しへの参加について

学生支援課課長補佐（学生支援課長の代理）から、8月1日（月）に実施される民踊流しの参加を申し込んだ旨報告があり、併せて、教職員及び学生の積極的な参加について依頼があった。

12 平成17年度（第7回）高等専門学校 及び 技術科学大学 図書館シンポジウムについて

西口 附属図書館長から、資料18に基づき報告があった。

13 委員会報告

（1）教務委員会

丸山理事から、資料19-1から19-4に基づき報告があった。

14 その他

(1) 平成 17 年度 父母懇談会の実施について

学長から、資料 20 に基づき、約 320 名の参加申込みがあったので、各教員とも積極的に参画すべきものであり、大学全体で対応するよう説明があった。

(2) その他

構成員から、海外実務訓練に行く学生の選考方法について、特定の指導教員の研究室に属する学生に偏っているように思えるが、国内の受入機関との均衡などの問題が生じないかの質問があった。

これに対して、石崎副学長から、機械系では、現在の指導教員や研究室とは関係なく、系全体で海外と国内を比較・勘案しながら選考している旨の説明があった。

以 上